

建設新聞



発行所
建設新聞社
〒980-0821 仙台市青葉区新井7-5
市外局番(022)221-1111(記番号)
総務部 4601 FAX221-4633
編集部 4602 FAX217-4170
編集事業部 4603 FAX221-4637
営業部 4604 FAX268-6416
編集事業部情報室 4606 FAX221-4637
©建設新聞 2017

日 綜 産 業

クイックデッキ現場見学会

クイックデッキが採用された五本松橋



日綜産業(東京都中央区小野大代表取締役社長)は23日、藤本建設(青森市長谷川学代表取締役社長)が施工を進めている青森県東青地域県民局発注の「青森浪岡線橋梁補修(五本松橋)工事」で採用された新

青森県内の橋梁で初採用

型システム吊り足場「クイックデッキ」の現場見学会を開いた。青森県内では初めての採用であり、参加した青森県東青地域県民局地域整備部、NEXCOの技術者らは写真を取りながら説明に聞き入った。

青森市浪岡五本松地内で舗装工、区画線工、橋梁付属物工(伸縮継手工)、橋梁補修工(ひび割れ補修工、表面被膜工、足場工、構造物撤去工、仮設工)を施工する同現場の見学会には、藤本建設の長谷川社長、同工事の堅田一也現場代理人、青森県東青地域県民局地域整備部とNEXCO東日本東北支社の技術職員17人、日綜産業の大久保工広報室長と木村圭北東北営業所長らが参加。

堅田一也現場代理人は、「高速道路上での作業のため、足場に単管を使用する在来工法では資材落下に対して不安があり、また高速道路上の建築限界である高さ4・5m以上の確保を確実にすること、使用部材の種類が少なく落下対策も考えられていて安心感があることのほか、「床面の仕上がりがフラット、かつ隙間がないのが素晴らしい」と感想を述べた。

その後、幅15・5m×長さ37・5mのクイックデッキが使用されている工事現場に移動。基本構成部材が全てシステム化され専用工具を必要とせず人力で組立可能なこと、吊点からの跳ね出し最大5mの先行床施工で、作業床を高所での危険な作業なしで安全に施工可能なこと、広い吊りチェーン間隔のため作業効率が高いことなどの説明を受けた。

日綜産業によると、クイックデッキの納入・稼働中の現場は、橋梁をはじめ大型ショッピングモールや航空機組立工場新築の天井工事、精密機械工場の天井改修、新幹線高架の改修など200件以上となり、特に天井改修工事に用足場では、工場を稼働させながら改修ができる点が発注者に評価されているという。2015年5月には東北地方整備局でNETIS登録が完了し「これを契機に、今後到来するメンテナンス時代に向けて橋梁等の点検・補修等の公共工事への市場拡大を図りたい」と話している。

2017年(平成29年)5月25日(木曜日) (2)

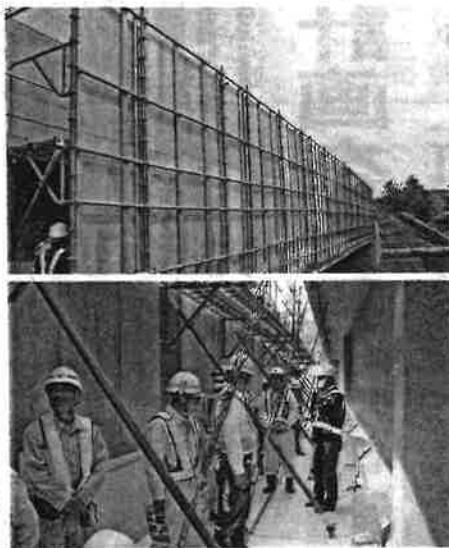
【青森】日綜産業(東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目10-1 小野大社長)は23日、同社が展開する新型システム吊り足場「クイックデッキ」の現場見学会を青森市浪岡で開催し、参加した発注者や報道関係者に同製品の特徴をPRした。

クイックデッキは、従来ならば危険な足場架設作業を強いられるような現場条件下においても、先行床施工による危険作業の回避や、広い吊りチェーン間隔による快適な作業空間確保など、従来製品に比べ安全性や施工性、機能性などにおいて優位点を持つ。

見学会が行なわれた現場は、県東青地城県民局発注

優れた施工性、安全性

日綜産業 県内初採用現場で見学会



県内で初めてクイックデッキを採用した青森浪岡線橋梁補修(五本松橋)工事の現場

吊り足場「クイックデッキ」

の「青森浪岡線橋梁補修(五本松橋)工事」。高速道路路上に架かる橋梁の補修工事で、施工は藤本建設が担当する。クイックデッキの採用は県内で初めて。現場代理人を務める藤本建設の堅田一也課長は、「仮設

同製品は、今回のような橋梁補修現場のほか、大型建築物の新築現場や工場の天井補修、体育館の天井改修などで多く採用されており、2014年6月の発表以来、これまでに200件以上の採用実績を誇る。一昨年5月には東北地方整備局において新技術情報提供システム(NETIS)への登録も完了している。

(町田大祐)

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2017

青森浪岡線橋梁補修で県内初採用

日綜産業は、青森県東青森民局地域整備部発注の青森浪岡線橋梁補修(五本松橋)工事(施工：藤本建設・堅田一也所長)の現場で、仮設吊り足場「クイックデッキ」の現場見学会を開いた。写真：県内で初めての採用とあって、県のほか同橋が跨ぐ高速道路を管理する東日本高速道路会社から、あわせて約20人が参加し、同システムに対する発注者の関心の高さを示した。

日綜産業が現場見学会

日綜産業の木村圭北東北営業所長が「青森県内でクイックデッキが採用されるのは今回が初めてとなる。これを契機に県内でさらに普及させたい」とあいさつした。引き続き、堅田所長が工事概要



クイックデッキに高い関心

床先行型のため安心感もあり、床面の仕上がりフラットですき間がない。使用部材の種類も少なく落下対策も考えられている」と高く評価。仮設工事を担当した成和産業の山口崇広営業次長も「床先行のため危険作業がない。安心感があり大変良い」と絶賛した。

この後、高速道路上に架かる同橋梁の工事現場に移動し、実際に足場上がり、フラットな床面や設置状況などを確認した。

同工事は、経年で傷んだ五本松橋を補修するもので、舗装工、区画線、橋梁付属物工、橋梁補修工を行うもので、クイックデッキは、幅15・5m、長さ37・5mの581平方mが採用されている。工期は7月21日まで。23日現在の進捗率は73%。工事場所は青森市浪岡大字五本松。